

平成27年新春産学官交流会 (H27年1月23日開催)



平会長 挨拶

明けましておめでとうございます。日頃よりNISA活動にご協力頂きありがとうございます。昨年を振り返りますと、国内経済は4月の消費税アップで景気も一時的に後退しましたが、その影響も緩和してきました。このような中、日経平均株価は好調に推移してきています。良いところもあれば心配なこともあるという状態で、今を迎えていると感じています。

新年の新聞の地元経済欄に掲載の、地元経営者の方々による今年見通しのコメントによりますと、期待感を持ちつつ慎重なコメントが多いと感じました。

さて、今年は未年です。羊は群れを成して行動し、安全で平和的な行動をする動物であると言われています。そんな安定した中で景気回復が進んでいけばと期待しています。

また、本日は「我が社の一押し」と「新春講演会」で3社の方にお話を頂きました。ユニオンソフトの濱田社長には「電債の達人」という長年企業の手形管理に取り組んでこられた成果を含めて非常に興味深く聞かせて頂きました。利用する企業側の立場に立ったシステムとして、多くのソフトに逸早く対応され、全国の銀行からも注目され、導入の成約が進んでおり、長崎発のシステムに大きな期待を持っています。

次にオフィスメーション石橋専務の話では、「3Dデジマ」というコアワーキングスペースをプレオープンし、4月には本格的スペースをオープンとのこと。非常に期待の持てる新しい取り組みだと思えます。

ご来賓の長崎県産業労働部 加藤次長
長崎市商工部 尾上部長にご挨拶頂きました。



加藤次長



尾上部長

ご講演いただきました“なんとか株式会社”社長の前田様には情報管理・セキュリティ管理に対する危機にどのように対処していくべきかという課題に対し、大変参考になる話をして頂きました。皆さまには今年我々が取り組んでいかなければならない様々な課題に対して、価値あるお話でありました。

さて、当協会の主要事業の一つである研修事業は、各企業の方々に研修を受けて頂くため、キャリア助成金制度を適用し企業の負担軽減を図っています。昨年は、助成金制度が、講座当たり10時間から20時間以上に変更となり、長時間であるので受講して頂けるか心配でしたが、219名の多くの方々に受講して頂きました。運営側としては、研修事業にご理解を頂きホットしています。その他、新たにIPAのITスキル標準を自社に取り込む「i(アイ)コンピテンシディクショナリ・ワークショップ」を昨年長崎で開催し、会員3企業が参加されました。福岡での説明会を含めて随分時間を費やして頂きましたが、人材育成活動が業績向上に役立つものと期待しています。

本日ご参列頂いています長崎県、長崎市、大学関係、関連先の皆様には日頃より大変お世話になっています。県では昨年、ITを活用した産業競争力強化支援事業が立ち上がりました。これは県内の企業、自治体を支援する目的で、初年度は調査事業が実施されました。県内事業の情報化を我々情報産業企業が担っていけるように、地産地消の取り組みが進展することを期待しています。関係者の皆様には、今後引き続きご協力よろしくお願い申し上げます。今後とも、我々協会の会員が一丸となって活動して参りますのでよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

「新春講演会」



前田社長

講演テーマ:「セキュリティ脅威と 情報サービス産業の信頼性確保」

講師: なんとか株式会社

代表取締役社長 前田 勝之様

まず初めに、IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)について紹介がありました。IPAでは過去の事例を通してセキュリティ脅威と、その対策等を多く提供しているのでとても参考になるようです。

次にIT環境の変遷のご説明の中で、一人一人がネットワークにつながっている現状の課題についてご紹介がありました。企業については、標的型攻撃で会社の情報が狙われていること、例えば特定の会社から特定のWEBサイトを見ると、ウィルスに感染するような手間をかけたものがあるということです。また感染した端末を増やし、それをネットワーク化し犯罪に利用する手口もあります。一昔前は愉快犯、現在は金銭目的、これからは情報破壊等テロに使われることが考えられます。

その流れから IPA が考えている課題についての説明がされました。

- ①陸、海、空、宇宙に続くサイバー領域
- ②金銭目的のサイバー犯罪
- ③インターネットを使った犯罪
- ④内部統制とセキュリティマネジメント
- ⑤インターネットモラル

大きな変化として、ネットバンキングの普及によりID、パスワードを盗む犯罪も多くみられること、それに関する問題点としては、多くの人がID、パスワードを使い廻していることが挙げられていました。

その他企業が持つ顧客情報の価値の認識と、その情報を守るための取り組みが重要であるなど具体的なお話をいただきました。

「我が社の一押し」



濱田社長

石橋専務

■ユニオンソフト株式会社

発表者: 代表取締役 濱田 利夫様

「でんさいネットの仕組みと対応ソフト『電子債権の達人』」というテーマで、でんさいネットや紙の手形など5種類の期日債権・債務を管理できるオールインワンソフト! でんさいネットへの記録請求データ作成や債権・債務情報、および決済情報の取り込みについて説明をされました。長崎から全国へ営業で飛び回る日々の様子です。これからの更なる活躍に期待しましょう。

■オフィスメーション株式会社

発表者: 専務取締役 石橋 圭介様

「3D デジタル機器を活用した新事業立上げの背景と今後の取組み」というテーマで、3D デジタル機器を活用するコミュニティーの場を企業、個人問わず提供し、そこで得た知見・技術を活用し、製造業及び教育機関・医療機関などから求められるニーズに対応するビジネスモデルの構築について、説明頂きました。あわせて、3D 関連商品の販売、3D 技術の教育・人材育成・コンサルにも力を入れていくと説明がありました。

話題の3Dプリンターを体験できる良い機会です。どうぞご利用ください。

平成27年度新入社員研修



H27年度新入社員研修

H27年度の「IT技術者育成の新入社員研修」を㈱エンベックスと共同開催により、4月7日から6月5日までの38日間実施しています。

本年度の受講者は、4社7名です。

IT 技術者に必要な基礎知識から高度なプログラミング、実践的なプロジェクト演習などを体系的に修得できると共に、社会人基礎のトレーニングも行います。キャリア形成促進助成金制度「厚生労働大臣認定実習併用型」を利用し、助成金の支給を受ける

こととで、受講料は最終的にはほぼゼロ円となります。最近、景況感もよくなり、教育する先輩の皆様多忙であり、新人教育に時間が割けない状況であろうと思います。このような状況であるからこそ、新人教育専門のプロにお願いされては如何でしょうか。おまけに助成金の活用で、研修費がほぼゼロです。受講者の習得状況のフォローアップと企業へのフィードバックがきめ細かく毎日実施されていますので、受講者を派遣されている企業から高い評価を頂いています。

平成27年度研修スケジュール



NISA研修状況

平成 27 年度の研修スケジュールは次の通りです。詳細は NISA ホームページ「研修事業」をご覧ください。

・ネットワークセキュリティの基礎	5/13・14・15
・リーダーシップ力養成研修	6/3・4・5
・開発者必須のネットワークサーバ技術	6/10・11・12
・現場力養成！若手社員の仕事術	6/17・18・19
・Java によるオブジェクト指向プログラミング(基礎編)	7/1・2・3
・業務分析設計概説	7/8・9・10
・心理学に基づいたプロジェクトメンバーの管理・育成方	7/15・16・17
・VB によるオブジェクト指向プログラミング開発(基礎編)	7/29・30・31
・Java による Web アプリ開発(実践編)	8/5・6・7
・iPhone アプリ実践開発	8/19・20・21
・VB による Web アプリ開発(実践編)	8/26・27・28
・ソフトウェア開発リーダーのためのコーチングスキル	9/2・3・4
・Web システムのアーキテクト育成	9/9・10・11
・ビッグデータ処理基盤を活用したアプリ開発	9/16・17・18
・プロジェクトマネージャ育成「プロジェクトの実行マネジメント」	9/30・10/1・2
・Android アプリ開発	10/14・15・16
・パフォーマンスを上げる SQL チューニング	10/21・22・23
・アジャイル開発の実践演習	10/28・29・30
・ネットワークトラブルの原因分析技術	11/11・12・13
・GoogleAppEngine による Web アプリ開発	11/18・19・20
・クラウドサービスコーディネータ育成と仮想化技術	11/25・26・27
・サイバー攻撃におけるインシデント対応	12/2・3・4
・フレームワークを用いた Web アプリ開発	12/16・17・18
・IT 技術者必須のサーバ技術	1/13・14・18

理事会



理事会

NISA理事会は定期的(月に一回)に開催され会員皆さまのお役にたてる事業や地域へ貢献する事業の企画、審議等を行っています。

オブザーバー(視聴はできますが審議には参加できません)として参加してみませんか。

参加希望の方は事務局までお問い合わせください。

第11回IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2015募集

情報モラル・セキュリティの大切さが伝わる作品を「標語」、「ポスター」、「4コマ漫画」で小学・中学・高校および高専生対象に募集をしています。昨年たくさん応募頂きました。

以下は 2014 年の NISA 会長賞 表彰作品です。



アジア情報

ベトナムでは2015年1月1日より「ベトナムにおける外国人の出入国、乗継、居住に関する法律」が発効されています。本人の場合、以下の要件を満たせば、査証(ビザ)無で最大15日間の滞在が可能です。

- ① 出国日時点のパスポート有効期限が6ヵ月以上。
- ② 前回のベトナム出国日から 30 日以上の間が経過していること。(パスポートのベトナム出国税関審査官の出国スタンプに基づく)
- ③ 往復航空券又は第三国への航空券が必要です。ベトナム入国禁止対象者リストに記載ないこと。

(要注意)

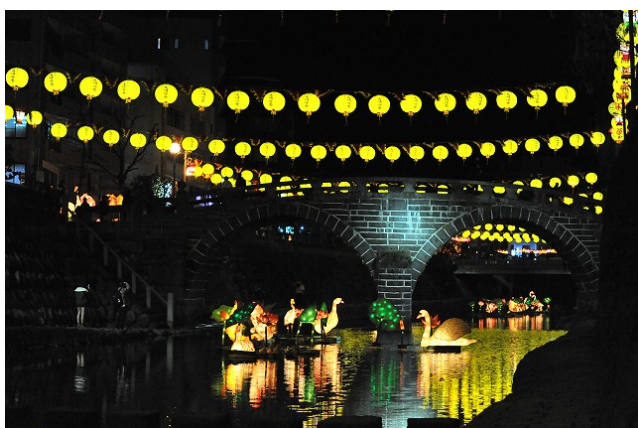
観光で、2015年4月1日にベトナムへ入国し1日宿泊しました、4月2日にベトナムを出国しカンボジアへ行きました。カンボジアで2泊し4月4日にベトナムへ戻る場合、査証無ではベトナムへ入国できません。前回のベトナム出国から30日以上経過していないからです。4月1日に日本を出国しベトナム乗継でカンボジアへ入国し2～3泊、カンボジアを出国しベトナムへ入国2～3泊、ベトナムを出国し日本へ帰国。これは査証無でもOKです。以前は15日以内の滞在であれば短期的に何度でもベトナムへ入国できていたので便利でしたがこれからは注意が必要です。

長崎ランタンフェスティバル 2015

中国の旧正月(春節)を祝う行事であったが、長崎ではランタンフェスティバルとして、今年は2月19日(木)から3月5日(木)開催された。15日間の期間中、街中に飾られる約1万5000個の極彩色のランタン(中国提灯)と、各会場の大きささまざまなオブジェたちが一帯を幻想的に彩り、約92万人の来場となった。今年は例年より遅く、冬とはいえ比較的暖かかった。来年は、2月8日(月)から22日(月)の開催となる。(NISA 会員も協賛)



メイン会場 今年のオブジェ「未」



中島川の眼鏡橋界隈

長崎帆船祭 2015

4月25日(土)から4月29日(水)まで、国内外から大型を含む数々の帆船が集結する日本で随一の帆船イベント。2000年日蘭交流400周年記念イベントとして始まり、今年16回目の帆船祭りが開催された。

今年は、日本最大の帆船である「日本丸」(全長110.99m、全幅13.8m、総トン数2,570t)、ロシア海洋国立大学「ナジェジュダ(НАДЕЖДА)」(全長109.40m、全幅14.0m、総トン数2,297t)大型船のほか韓国の国際海洋都市研究院の「コリアナ」(全長41.0m、全幅6.6m、総トン数135t)、日本船「観光丸」(全長65.8m、全幅14.5m、総トン数353t)、「みらいへ」(全長52.6m、全幅8.6m、総トン数230t)、「ドントレダ」(全長32.5m、全幅7.0m、総トン数132t)以上の6隻の参加であった。岸壁に停泊して、真っ白な帆を広げるセイルドリルが4月26日(日)「日本丸」と「ナジェジュダ」、4月27日(月)に「コリアナ」、「みらいへ」、「ドントレダ」で実施された。期間中体験クルーや夜間にはライトアップされ、幻想的な光景であった。今年は好天にも恵まれ、昨年より4万人多い21万8000人の人出であった。(NISA 会員も協賛)



「日本丸」



ロシア「ナジェジュダ(НАДЕЖДА)」

発行元：一般社団法人 長崎県情報産業協会
〒850-0032 長崎市興善町4-6-701
電話：095-824-0332

発行責任者：会長 平 敏孝

発行日：平成27年4月29日 第1版

(文責：総務広報委員会 梁瀬理事)